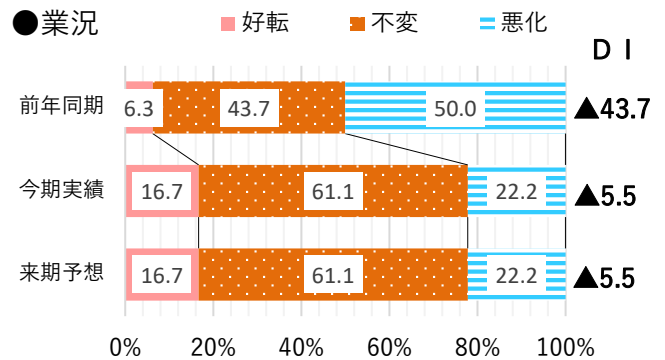


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

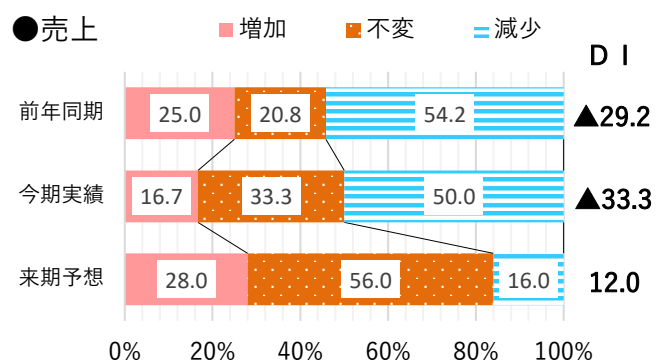
今期（2021.4～6）の業況判断DIは▲5.5で、前年同期（2020.4～6）と比べ38.2ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期（2021.7～9）は、業況の横ばいを予想しています。



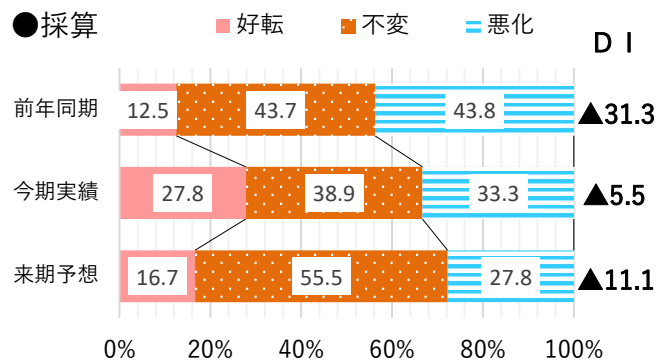
今期の売上高DIは▲33.3で、前年同期と比べ4.1ポイント低下しました。

来期は、売上が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。

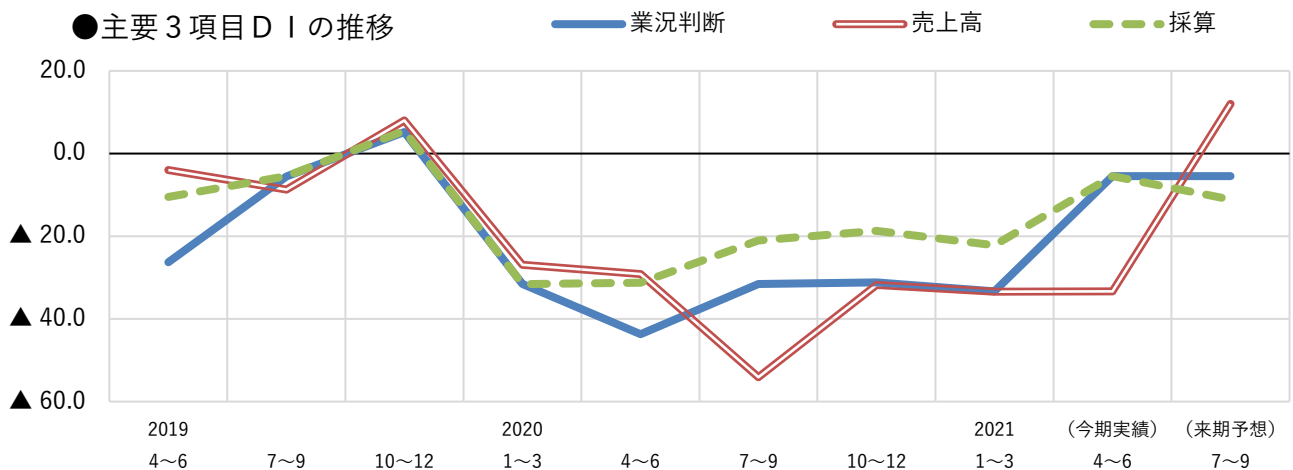


今期の採算DIは▲5.5で、前年同期と比べ25.8ポイント上昇しました。

来期は、採算の悪化傾向が続くと予想しています。



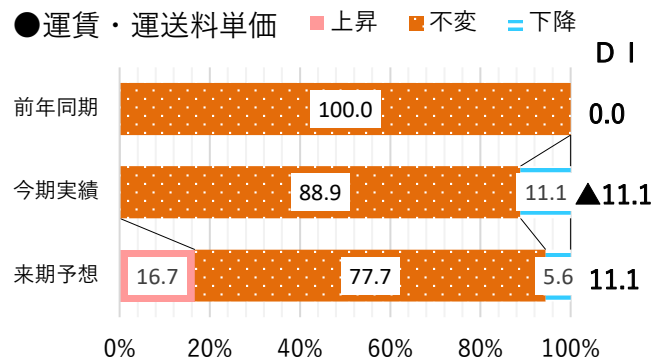
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

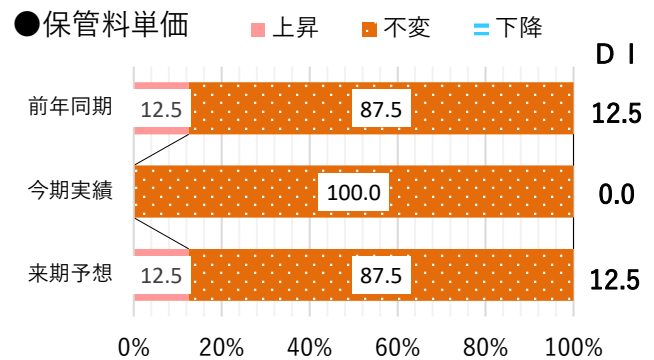
今期の運賃・運送料単価DIは▲11.1で、前年同期と比べ11.1ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、運賃・運送料単価が上昇に転じると予想しています。



今期の保管料単価DIは0.0で、前年同期と比べ12.5ポイント低下しました。

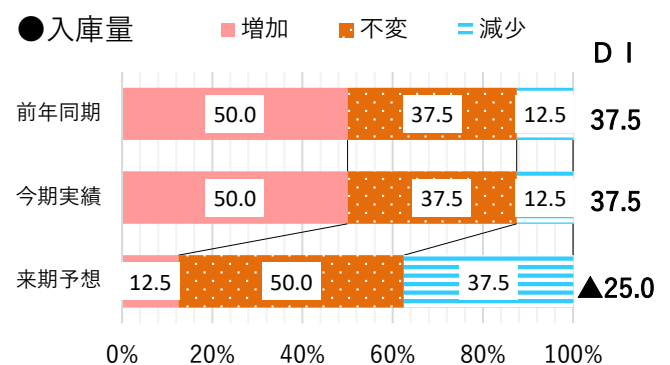
来期は、保管料単価が上昇に転じると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

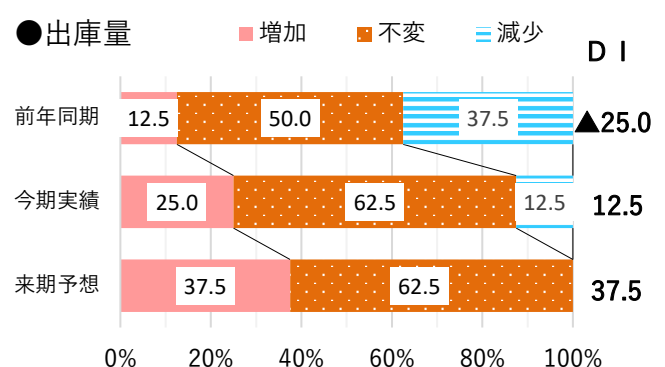
今期の入庫量DIは37.5で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、入庫量が大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。



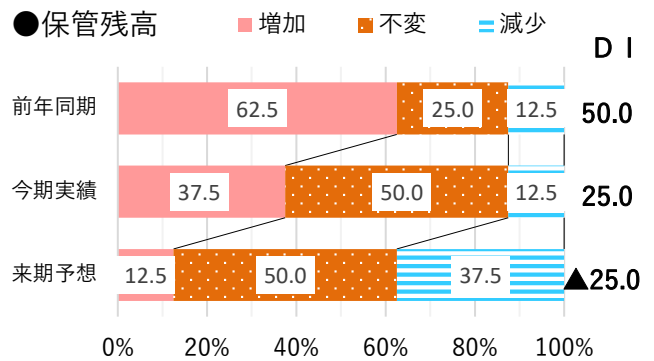
今期の出庫量DIは12.5で、前年同期と比べ37.5ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、出庫量の増加傾向が強まると予想しています。



今期の保管残高DIは25.0で、前年同期と比べ25.0ポイント低下しました。

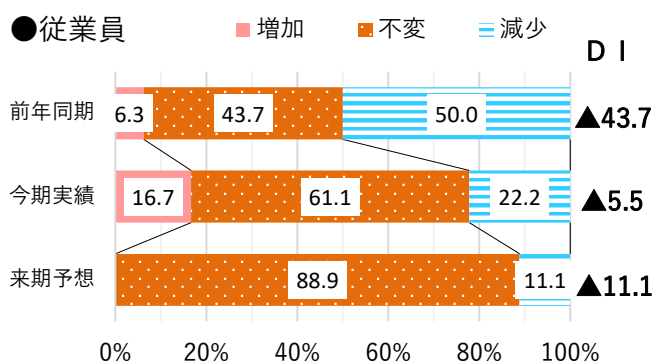
来期は、保管残高が大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。



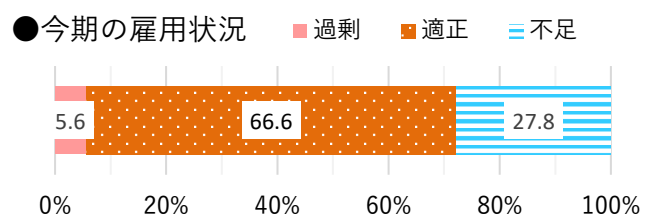
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲5.5で、前年同期と比べ38.2ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、従業員の減少傾向が続くと予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は5.6%、適正であると回答した企業の割合は66.6%、不足していると回答した企業の割合は27.8%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の50.0%を占めています。

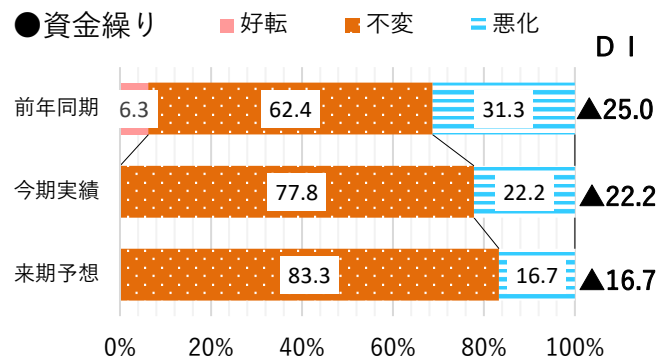
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	0
不変だった	過剰	1
	適正	9
	不足	1
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	4

資金繰り、設備投資

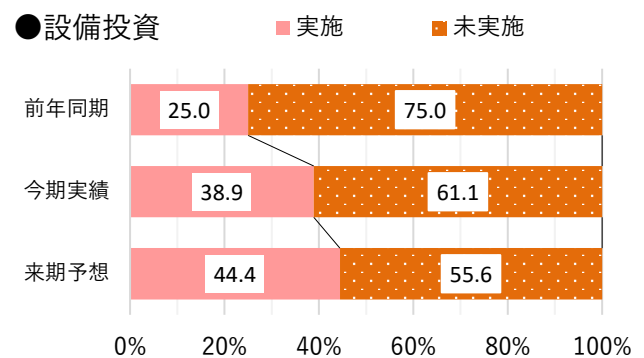
今期の資金繰りDIは▲22.2で、前年同期と比べ2.8ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



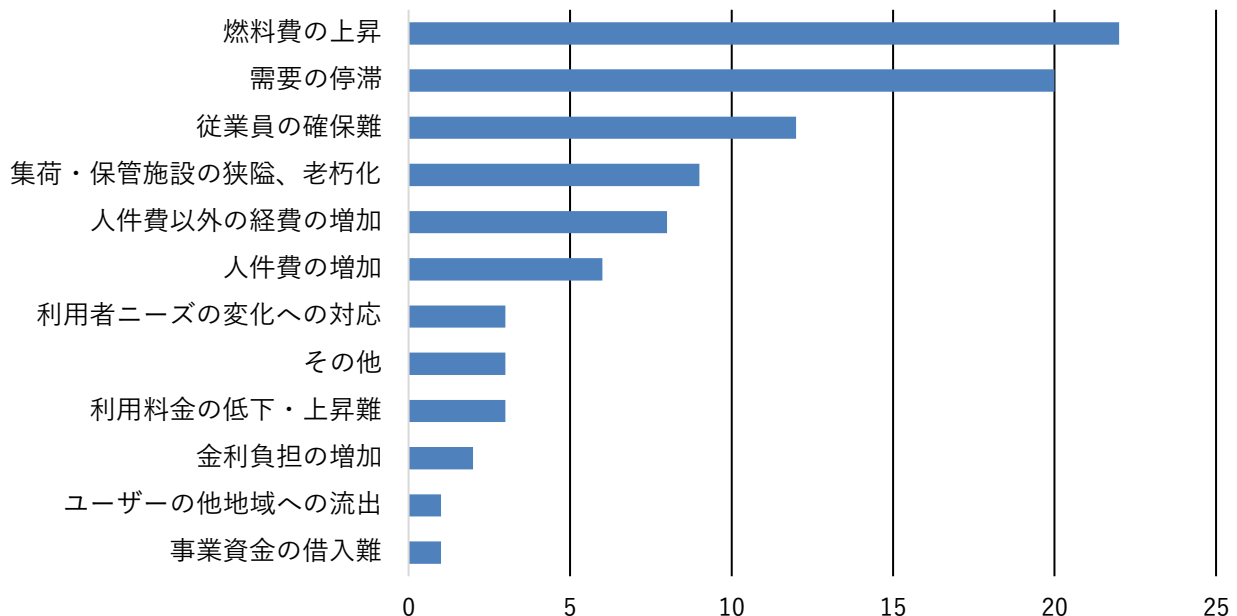
設備投資を実施した企業の割合は38.9%で、前年同期と比べ13.9ポイント上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「集荷・保管施設の狭隘、老朽化」、「付帯施設」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は44.4%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「燃料費の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「従業員の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 燃料単価が高騰し、収益が減少した。前年同期は大手の製麺、製パン企業向け出荷量が過去最高だったが、今期は中小製麺、製パン企業向けの出荷量が激減したまま回復しなかった。（道路貨物運送）
- 運輸部門の売上は前期を下回ったが、建設部門が伸長し、会社全体の業況は好転した。（道路貨物運送）
- 自動車、内麦・米等の貨物や倉庫への在庫量減少により、売上と収益が減少した。（道路貨物運送）
- 燃料価格が上昇した。昨年度と比べ巣ごもり需要が減少し、売上が減少した。（道路貨物運送）
- ドライバーを補充できなかったため、売上が減少した。（道路貨物運送）
- 緊急事態宣言によって人流が止まり、売上は昨年同様最悪の水準だった。また、社会保険料と税の猶予期間の終了や、補助金の減少によって資金繰りが悪化した。（道路旅客運送）
- 外出自粛の要請によって人流が大きく減少し、業況は最悪な状況にある。また、人材確保が非常に厳しい。（道路旅客運送）
- 飲料の輸送量の減少や、インバウンドの減少によって売上が減少した。（港湾運送）
- 緊急事態宣言発出に伴う外出自粛の要請があったが、ゴールデンウィーク中は旅客の利用が増加した。貨物の利用台数は増加したが、運賃改定によって売上が減少した。燃料価格は上昇傾向にある。（水運）
- 在庫量の増加によって、売上額が伸びている。（倉庫）

[来期の業況について]

- 新型コロナウイルスの早期収束と出荷量の回復に期待しつつ、運賃値上げ交渉を進める。（道路貨物運送）
- 燃料価格が上昇しているため、運送単価を見直したいが、荷主との交渉に不安を感じる。（道路貨物運送）
- 燃料価格の上昇が懸念される。（道路貨物運送）
- 緊急事態宣言の解除によって売上は回復するかもしれないが、大きな改善は見込めない。（道路旅客運送）
- 新型コロナウイルスの影響による旅客の利用自粛と、燃料価格の上昇が懸念される。（水運）
- 在庫量の減少に加え、出庫量の増加が予想される。（倉庫）